



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月3日

上場会社名 株式会社 タクミナ

上場取引所 東

コード番号 6322 URL <https://www.tacmina.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 信彦

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 芝田 浩実

TEL 06-6208-3971

四半期報告書提出予定日 2023年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,708	8.5	932	12.7	942	8.0	631	7.5
2022年3月期第3四半期	6,182	6.3	827	40.1	872	46.6	587	43.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 706百万円 (18.1%) 2022年3月期第3四半期 597百万円 (35.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	87.44	
2022年3月期第3四半期	81.47	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	12,565	8,514	67.8	1,178.12
2022年3月期	12,092	8,117	67.1	1,125.37

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 8,514百万円 2022年3月期 8,117百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		20.00		25.00	45.00
2023年3月期		20.00			
2023年3月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	9.5	1,210	0.6	1,220	3.7	840	4.6	116.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料の8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	7,728,540 株	2022年3月期	7,728,540 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	501,420 株	2022年3月期	515,270 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	7,220,578 株	2022年3月期3Q	7,207,216 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
3. その他 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限の解除以降は、社会経済活動との両立が進み、企業の設備投資や生産活動に持ち直しの動きが見られましたが、その一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格の高騰や急激な円安進行の影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループを取り巻く受注環境は、国内では、続くケミカル業界の設備投資需要に強く牽引され受注は好調に推移したため、売上を伸ばすとともに受注残高を大きく積上げました。また、海外向けでは、二次電池業界の設備投資が引き続き活発なことから、同業界向けの受注が堅調に推移しました。

主な品目別販売実績は、以下のとおりです。

第1四半期連結会計期間より、従来は「定量ポンプ」として記載していた品目区分を、当社グループの主力製品である「スムーズフローポンプ」及び関連装置等については「高性能ソリューションポンプ」として、ソレノイド駆動ポンプやモータ駆動ポンプ等については「汎用型薬液注入ポンプ」として区分する方法に変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較及び分析は、変更後の区分に基づいております。

高性能ソリューションポンプは、国内市場では、当社主力製品の「スムーズフローポンプ」の主要市場となるケミカル業界が、二次電池市場や素材産業を中心とした収益源の多様化、高付加価値サービス創出に向けた研究開発への注力を背景に積極的な設備投資の姿勢を見せていることから、同製品群の販売は引き続き好調に推移し、売上を伸ばしました。12月には、幕張メッセで開催された「高機能素材week 2022」に出展し、電池業界やMLCC業界の塗工工程における環境負荷低減や自動化・効率化など、スムーズフローテクノロジーを駆使したソリューションを訴求するとともに、多くのユーザー様に直接アプローチすることができました。

海外市場では、韓国の二次電池業界における設備投資の動きが継続しており、「スムーズフローポンプ」の受注を着実に積み上げ、売上も好調を維持しました。

汎用型薬液注入ポンプは、滅菌・殺菌業界向け及びプラント向けの水処理関連にコロナ禍からの需要回復がみられ、売上を伸ばしました。

ケミカル移送ポンプは、エア駆動式ポンプが堅調に推移したほか、「ムンシュポンプ（高耐食ポンプ）」が、国内外の製鉄プラント向けで案件化され、売上が増加しました。

計測機器・装置は、部材納期の長期化に伴い売上への転化が遅れていることに加えて、プラント向けの大型のスポット案件が少なかったこともあり、低調に推移し売上が減少しました。

ケミカルタンクは、大型タンクなどのスポット案件が前年同四半期に比べ減少した反動から、売上が減少しました。

以上の結果、売上高は67億8百万円（前年同四半期比8.5%増）と増加しました。利益面につきましては、仕入部材等の価格上昇の影響を一部受けたものの、売上増加に伴う増益等により吸収することができたため、売上総利益は30億99百万円（同6.7%増）と増加しました。また、企業活動の復調に伴う販売費及び一般管理費の増加を、売上総利益の増加により吸収することができたため、営業利益は9億32百万円（同12.7%増）、経常利益は9億42百万円（同8.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億31百万円（同7.5%増）とそれぞれ増益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4億73百万円増加し、125億65百万円となりました。

流動資産は5億10百万円増加し、86億30百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金の減少1億23百万円、売上債権の増加1億58百万円、有価証券の増加1億円、棚卸資産の増加3億10百万円であります。

固定資産は37百万円減少し、39億35百万円となりました。増減内訳は、有形固定資産の増加20百万円、無形固定資産の減少14百万円、投資その他の資産の減少44百万円であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて76百万円増加し、40億50百万円となりました。

流動負債は3億13百万円減少し、27億89百万円となりました。主な増減内訳は、仕入債務の増加1億25百万円、短期借入金の増加42百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少3億50百万円、未払法人税等の減少78百万円、賞与引当金の減少1億64百万円であります。

固定負債は3億89百万円増加し、12億61百万円となりました。主な増加内訳は、長期借入金の増加3億50百万円、退職給付に係る負債の増加32百万円であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて3億96百万円増加し、85億14百万円となりました。主な増加内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益6億31百万円から配当金3億25百万円の支払いを差し引いた利益剰余金の増加3億6百万円、その他有価証券評価差額金の増加30百万円、為替換算調整勘定の増加37百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の67.1%から67.8%へと0.7ポイント上昇いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月10日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました、通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,598,529	3,475,377
受取手形及び売掛金	2,518,185	2,486,427
電子記録債権	1,085,199	1,275,815
有価証券	—	100,008
商品及び製品	173,475	197,429
仕掛品	12,300	3,367
原材料及び貯蔵品	702,765	998,071
その他	32,172	96,645
貸倒引当金	△2,809	△2,973
流動資産合計	8,119,818	8,630,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,305,794	1,263,389
その他（純額）	912,563	975,905
有形固定資産合計	2,218,358	2,239,294
無形固定資産	147,133	133,130
投資その他の資産		
投資有価証券	976,420	947,442
その他	630,507	617,468
貸倒引当金	—	△2,164
投資その他の資産合計	1,606,928	1,562,746
固定資産合計	3,972,420	3,935,171
資産合計	12,092,239	12,565,339

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	696,827	724,058
電子記録債務	1,053,615	1,151,493
短期借入金	38,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	350,000	—
未払法人税等	206,668	128,325
賞与引当金	298,350	133,401
その他	458,997	572,061
流動負債合計	3,102,459	2,789,339
固定負債		
長期借入金	—	350,000
退職給付に係る負債	720,849	752,860
その他	151,325	158,750
固定負債合計	872,175	1,261,611
負債合計	3,974,634	4,050,950
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	892,998	892,998
資本剰余金	751,559	759,219
利益剰余金	6,527,707	6,833,981
自己株式	△305,646	△297,525
株主資本合計	7,866,619	8,188,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	227,101	257,162
繰延ヘッジ損益	360	313
土地再評価差額金	30,438	30,438
為替換算調整勘定	19,277	56,923
退職給付に係る調整累計額	△26,192	△19,124
その他の包括利益累計額合計	250,985	325,714
純資産合計	8,117,604	8,514,389
負債純資産合計	12,092,239	12,565,339

## （2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
売上高	6,182,635	6,708,731
売上原価	3,277,420	3,609,461
売上総利益	2,905,215	3,099,270
販売費及び一般管理費	2,077,903	2,167,045
営業利益	827,311	932,224
営業外収益		
受取利息	3,930	5,443
受取配当金	12,748	15,195
投資有価証券運用益	18,363	—
持分法による投資利益	1,241	958
為替差益	2,362	—
その他	8,552	3,705
営業外収益合計	47,200	25,302
営業外費用		
支払利息	1,020	1,220
為替差損	—	10,457
その他	856	3,103
営業外費用合計	1,876	14,781
経常利益	872,635	942,745
特別利益		
債務免除益	6,055	—
特別利益合計	6,055	—
特別損失		
特別功労金	23,567	—
減損損失	2,336	27,349
保険解約損	4,017	—
特別損失合計	29,921	27,349
税金等調整前四半期純利益	848,769	915,395
法人税等	261,629	284,044
四半期純利益	587,140	631,351
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	587,140	631,351



## （四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
四半期純利益	587,140	631,351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,868	30,061
繰延ヘッジ損益	116	△46
為替換算調整勘定	754	37,646
退職給付に係る調整額	8,084	7,068
その他の包括利益合計	10,824	74,728
四半期包括利益	597,964	706,080
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	597,964	706,080
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

（会計方針の変更）

（米国会計基準ASU第2016-02「リース」の適用）

米国の在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間より米国会計基準ASU第2016-02「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを資産及び負債として認識することといたしました。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、使用権資産及びリース負債がそれぞれ15,269千円増加しております。

## 3. その他

## (1) 売上高

(単位：百万円)

品 目	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
高性能ソリューションポンプ	2,233	36.1	2,551	38.0	318	14.2
汎用型薬液注入ポンプ	1,736	28.1	1,900	28.3	164	9.5
ケミカル移送ポンプ	454	7.3	493	7.4	38	8.5
計測機器・装置	795	12.9	757	11.3	△37	△4.7
流体機器	266	4.3	318	4.8	52	19.8
ケミカルタンク	456	7.4	429	6.4	△26	△5.9
その他	239	3.9	256	3.8	16	6.8
合 計 (うち海外)	6,182 (1,110)	100.0 (18.0)	6,708 (1,125)	100.0 (16.8)	526 (14)	8.5 (1.3)

(注) 1. 当社の取扱品目は多種多様にわたり、数量表示が困難なため、記載を省略しております。

2. 第1四半期連結会計期間より品目区分を変更しております。この変更により、前第3四半期連結累計期間の数値を、変更後の品目区分に基づき組み替えて表示しております。

## (2) 受注高及び受注残高

(単位：百万円)

品 目	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
高性能ソリューションポンプ	2,519	36.4	3,502	42.7	982	39.0
汎用型薬液注入ポンプ	1,880	27.2	2,004	24.5	123	6.6
ケミカル移送ポンプ	482	7.0	608	7.4	125	26.1
計測機器・装置	893	12.9	983	12.0	89	10.1
流体機器	351	5.1	276	3.4	△75	△21.3
ケミカルタンク	515	7.4	527	6.5	12	2.5
その他	280	4.0	290	3.5	9	3.4
合 計 (うち海外)	6,924 (1,338)	100.0 (19.3)	8,193 (1,679)	100.0 (20.5)	1,268 (341)	18.3 (25.5)
受注高						
高性能ソリューションポンプ	788	45.3	1,626	54.8	837	106.2
汎用型薬液注入ポンプ	230	13.2	304	10.2	73	31.8
ケミカル移送ポンプ	146	8.4	275	9.3	128	87.8
計測機器・装置	241	13.9	407	13.7	166	68.8
流体機器	147	8.4	118	4.0	△28	△19.3
ケミカルタンク	115	6.7	162	5.5	46	40.1
その他	71	4.1	76	2.5	4	6.6
合 計 (うち海外)	1,741 (493)	100.0 (28.3)	2,970 (807)	100.0 (27.2)	1,228 (314)	70.5 (63.6)
受注残高						

(注) 1. 当社の取扱品目は多種多様にわたり、数量表示が困難なため、記載を省略しております。

2. 第1四半期連結会計期間より品目区分を変更しております。この変更により、前第3四半期連結累計期間の数値を、変更後の品目区分に基づき組み替えて表示しております。